

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場会社名 株式会社 サンマルクホールディングス
 コード番号 3395 URL <http://www.saint-marc-hd.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 直之
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 綱嶋 耕二
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

TEL 086-246-0309

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	27,830	2.2	4,398	△2.1	4,453	△0.9	2,365	3.0
21年3月期第3四半期	27,241	—	4,494	—	4,494	—	2,296	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	208.86	—
21年3月期第3四半期	202.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	32,220	26,596	82.5	2,348.31
21年3月期	30,736	25,115	81.7	2,217.44

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 26,596百万円 21年3月期 25,115百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	39.00	—	39.00	78.00
22年3月期	—	39.00	—		
22年3月期 (予想)				39.00	78.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,544	2.8	6,049	△0.4	6,100	0.1	3,200	0.2	282.59

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ「定性的情報・財務諸表等 4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 11,388,685株 21年3月期 11,388,685株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 62,711株 21年3月期 62,470株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 11,326,014株 21年3月期第3四半期 11,324,571株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年11月12日に公表いたしました連結業績修正予想に変更はありません。

2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、主に中国を中心としたアジア向け輸出の持ち直しと国内のエコポイント制度等の政策効果の持続などにより、世界的な金融危機の影響による景気後退局面から徐々に回復傾向にありますが、円高の進行やデフレ懸念による企業収益の低迷が長期化し、設備投資は低調なまま依然として非常に厳しい経済状況が続いております。

外食産業におきましては、雇用情勢・所得環境の悪化を背景とした消費者の節約志向の強まりは収束せず、全般的にはより一層の厳しい経営環境となっております。

このような状況の中、当社グループは中長期的な成長戦略の展望のもと、着実な新規出店、販売促進活動、既存業態のブラッシュアップによる営業レベルの維持向上及び新業態開発に継続して注力してまいりました。

新規出店の状況につきましては、当第3四半期連結累計期間中にベーカリーレストラン・サンマルク直営4店舗、FC1店舗、計5店舗、すし処函館市場直営1店舗、ベーカリーレストラン・バケット直営6店舗、生麺工房鎌倉パスタ直営6店舗、広東炒飯店直営7店舗、サンマルクカフェ直営12店舗、FC1店舗、計13店舗、実験中のサンマルクパスタ（ピッコロ）直営3店舗、神戸元町ドリア直営5店舗、グリル蔵敷直営2店舗をそれぞれ出店し（当第3四半期連結累計期間出店数：直営46店舗、FC2店舗、計48店舗）、これにより当社グループ全業態の第3四半期連結累計期間末の合計店舗数は、直営店463店舗、フランチャイズ店145店舗、合計608店舗体制となりました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高278億30百万円（前年同期比2.2%増）、経常利益44億53百万円（同0.9%減）、四半期純利益23億65百万円（同3.0%増）となりました。

事業部門別の業績は次のとおりであります。

レストラン事業部門売上高は150億86百万円（前年同期比0.3%増）、営業利益は29億20百万円（同11.3%減）となりました。

ファーストフード事業部門売上高は114億18百万円（前年同期比0.1%増）、営業利益は19億95百万円（同4.2%増）となりました。

事業統括管理部門売上高は13億25百万円（前年同期比66.4%増）、営業損失は5億16百万円（前年同期営業損失7億13百万円）となりました。

(注) 当社グループは、外食事業における多業態展開を図っており、中長期的にもさらなる展開業態数の増加が見込まれることから、事業の類似性を鑑み、前連結会計年度より上記のとおり従来の主力業態別の6事業部門をレストラン事業及びファーストフード事業の2事業部門に集約することといたしました。すなわち、従来のサンマルク事業、函館市場事業、バケット事業、鎌倉パスタ事業、サンマルクチャイナ事業を「レストラン事業」として集約し、カフェ事業を「ファーストフード事業」としております。したがって、事業部門における前年同四半期比較にあたっては、当該部門を当第3四半期連結累計期間をベースに遡及算出しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産は322億20百万円となり、前連結会計年度末と比較して14億84百万円の増加となりました。

資産の部では、流動資産は96億49百万円となり、前連結会計年度末と比較して7億86百万円の増加となりました。これは主に法人税等の支払、有形固定資産取得等による支出及び配当金の支払等がありましたが、営業活動による利益等の確保により、現金及び預金が6億57百万円増加したこと等によるものであります。

固定資産は225億71百万円となり、前連結会計年度末と比較して6億97百万円増加となりました。これは事業拡充のための直営店出店等に伴う建物及び構築物が2億30百万円、リース資産が2億97百万円増加したこと等によるものであります。

負債の部では、流動負債は42億33百万円となり、前連結会計年度末と比較して1億36百万円の減少となりました。これは買掛金59百万円、未払金1億8百万円、リース債務1億18百万円、未払消費税等1億34百万円の増加がありましたが、未払法人税等が6億75百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は、13億90百万円で前連結会計年度末と比較して1億38百万円の増加となりました。これは主にリース債務が2億8百万円増加したこと等によるものであります。

純資産の部は前連結会計年度末と比較して14億81百万円増加して265億96百万円となりました。この結果、自己資本比率は82.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、営業活動により獲得した資金は31億49百万円となり、その増加の主なものは税金等調整前四半期純利益41億95百万円を獲得したためであり、減少の主なものは、法人税等の支払いが24億71百万円発生したこと等によるものであります。投資活動におきましては14億31百万円の資金を使用し、その主なものは有形固定資産の取得による支出11億56百万円を行ったこと等によるものであります。財務活動におきましては10億51百万円の資金を使用し、その主なものは配当金の支払8億11百万円及びファイナンス・リース債務返

済支出が2億38百万円発生したことによるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較して6億57百万円増加し、71億68百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

消費マインドの低迷など外食業界を取り巻く経営環境の厳しさは続いておりますが、各業態における店舗サービスレベルの維持向上を目的とした体制の強化と販売促進活動の注力を両輪として諸施策を推進していく予定であり、平成21年11月12日の決算短信で公表いたしました業績修正予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

- ① 固定資産の減価償却費の算定方法に関し、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
- ② 繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測を利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,168,222	6,510,970
売掛金	1,966,574	1,770,511
商品	249	405
原材料及び貯蔵品	172,813	141,131
その他	355,574	453,114
貸倒引当金	△13,780	△13,459
流動資産合計	9,649,655	8,862,673
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,004,207	10,773,569
土地	2,267,873	2,267,873
その他（純額）	1,508,545	1,228,857
有形固定資産合計	14,780,626	14,270,300
無形固定資産		
その他	83,841	92,143
無形固定資産合計	83,841	92,143
投資その他の資産		
敷金及び保証金	6,358,604	6,169,951
その他	1,348,142	1,341,473
投資その他の資産合計	7,706,746	7,511,425
固定資産合計	22,571,215	21,873,868
資産合計	32,220,870	30,736,542
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,237,413	1,177,423
未払金	1,506,605	1,397,721
未払法人税等	559,930	1,235,516
引当金	138,016	53,227
その他	791,583	505,835
流動負債合計	4,233,550	4,369,724
固定負債		
引当金	49,396	44,600
その他	1,341,025	1,207,003
固定負債合計	1,390,421	1,251,603
負債合計	5,623,971	5,621,327

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,731,177	1,731,177
資本剰余金	3,038,799	3,038,799
利益剰余金	22,010,359	20,528,182
自己株式	△175,286	△174,631
株主資本合計	26,605,050	25,123,529
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,215	7,643
為替換算調整勘定	△16,367	△15,957
評価・換算差額等合計	△8,151	△8,313
純資産合計	26,596,898	25,115,215
負債純資産合計	32,220,870	30,736,542

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	27,241,272	27,830,534
売上原価	6,357,795	6,270,537
売上総利益	20,883,476	21,559,997
販売費及び一般管理費	16,389,283	17,161,172
営業利益	4,494,192	4,398,824
営業外収益		
受取利息	5,429	2,218
受取配当金	4,435	3,531
受取賃貸料	83,383	85,623
受取補償金	—	35,798
その他	15,838	40,053
営業外収益合計	109,088	167,226
営業外費用		
支払賃借料	70,203	69,315
為替差損	16,526	9,433
持分法による投資損失	10,436	1,735
その他	11,829	32,212
営業外費用合計	108,996	112,696
経常利益	4,494,284	4,453,354
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	120,031	53,688
投資有価証券評価損	12,074	—
減損損失	273,245	204,319
特別損失合計	405,351	258,009
税金等調整前四半期純利益	4,088,932	4,195,344
法人税、住民税及び事業税	1,749,000	1,795,700
法人税等調整額	43,753	34,044
法人税等合計	1,792,753	1,829,744
四半期純利益	2,296,179	2,365,600

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,088,932	4,195,344
減価償却費	850,131	1,070,814
減損損失	273,245	204,319
その他の引当金の増減額 (△は減少)	108,752	89,584
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	576	320
受取利息及び受取配当金	△9,865	△5,750
支払利息	3,782	10,050
為替差損益 (△は益)	16,526	9,433
持分法による投資損益 (△は益)	10,436	1,735
投資有価証券評価損益 (△は益)	12,074	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	—	0
固定資産除却損	120,031	53,688
売上債権の増減額 (△は増加)	△354,177	△196,063
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△32,982	△31,525
仕入債務の増減額 (△は減少)	152,101	59,989
未払金の増減額 (△は減少)	249,368	△8,480
その他	△108,122	172,865
小計	5,380,812	5,626,328
利息及び配当金の受取額	8,067	3,978
利息の支払額	△2,872	△9,613
法人税等の支払額	△2,793,127	△2,471,285
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,592,880	3,149,408
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,920,117	△1,156,201
有形固定資産の売却による収入	16,028	22,529
有形固定資産の除却による支出	△68,208	△21,518
無形固定資産の取得による支出	△8,390	△8,222
投資有価証券の取得による支出	△252	△58
その他	△839,067	△268,022
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,820,008	△1,431,493
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,314	△771
自己株式の売却による収入	52,566	128
配当金の支払額	△995,976	△811,737
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△80,402	△238,848
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,025,127	△1,051,228
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,526	△9,433
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,268,782	657,252
現金及び現金同等物の期首残高	7,052,857	6,510,970
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,784,075	7,168,222

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間において、当社グループは外食事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

当第3四半期連結累計期間において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

「参考資料」

(1) 部門別仕入実績

(単位：千円)

事業部門別	金額	前年同期比
レストラン	3,675,852	97.3%
ファーストフード	2,340,005	96.3
事業統括管理	282,506	158.6
合計	6,298,364	98.6

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 部門別販売実績

(単位：千円)

事業部門別	金額	前年同期比
レストラン	15,086,253	100.3%
ファーストフード	11,418,953	100.1
事業統括管理	1,325,327	166.4
合計	27,830,534	102.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 種類別販売実績

(単位：千円)

事業部門別	直営店売上		ロイヤリティ収入		F C 関連等売上		合計	
	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)	金額	前年同期比 (%)
レストラン	12,657,555	102.6	720,664	83.3	1,708,033	92.9	15,086,253	100.3
ファーストフード	11,042,898	100.0	62,356	134.7	313,699	97.7	11,418,953	100.1
事業統括管理	1,301,694	167.1	—	—	23,632	134.5	1,325,327	166.4
合計	25,002,148	103.5	783,020	85.9	2,045,365	93.9	27,830,534	102.2

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。